

## 政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

### 重点課題

### 施策の基本方針

1

#### 市民の主体的な 地域づくりの支援

札幌市自治基本条例\*の下、市民が主体的に考え、行動できる街を目指し、まちづくりセンター\*を拠点として、まちづくり活動の機会の充実や、まちづくりに必要な情報の積極的な提供、まちづくり活動を行う団体間の連携の促進などを行うとともに、町内会活動やボランティア活動などの市民活動を一層応援し、市民が主役のまちづくりを進めます。また、市民自治の実践として、まちづくりセンターの地域による自主運営化や雪対策の推進など、市民の主体的な活力あふれる地域づくりを支援します。

2

#### 札幌の経済を支える 企業・人の支援

足腰の強い経済の活力みなぎる都市を目指し、地域の事業者を支援する「元気がんばれ資金」の創設や経営相談の実施、地元企業に対する国内外への販路拡大の支援や製造業の高付加価値化の促進など、札幌を支える産業を支援します。また、起業を目指す市民を対象としたさまざまな支援、若者、女性、中高年などに対する雇用機会の創出や就労支援に取り組むとともに、労働に関する問題解決の支援を行い、安心して働ける環境づくりを推進します。

3

#### 札幌らしい新産業の 育成と企業の誘致

さっぽろのブランド力をさらに向上させるため、札幌市立大学をはじめとした研究機関が持つ知の資産と産業を結び、デザインやバイオ\*の分野などで札幌らしい特色ある新産業を育成し、スイーツ\*などの食品関連産業とともに国内外に発信します。また、平成27年までにIT\*・コンテンツ\*産業売上高1兆円を目指し、人材・企業を育成し、映像を中心としたコンテンツ分野の取引の拡大を図るとともに、IT関連企業などを積極的に誘致します。

\*まちづくりセンター 住民組織の振興、地区の要望などの収集、市政の周知、戸籍や住民票の取り次ぎなどに加え、さまざまなまちづくり活動を支援する地域の拠点として市内に87カ所設置。

\*バイオ バイオテクノロジーの略。生物工学。生物を工学的見地から研究し、応用する技術。

\*スイーツ 洋菓子、またはデザートのこと。「さっぽろスイーツ」とは、北海道の素材を活かした札幌ならではの洋菓子。

\*IT インフォメーション・テクノロジー (Information Technology) の略。情報処理、情報技術。

\*コンテンツ 放送やネットワークで提供される動画・音声・テキストなどの情報の内容。



# 重点課題 1 市民の主体的な地域づくりの支援

## 施策と事業

### 施策の基本方針

札幌市自治基本条例\*の下、市民が主体的に考え、行動できる街を目指し、まちづくりセンター\*を拠点として、まちづくり活動の機会の充実や、まちづくりに必要な情報の積極的な提供、まちづくり活動を行う団体間の連携の促進などを行うとともに、町内会活動やボランティア活動などの市民活動を一層応援し、市民が主役のまちづくりを進めます。また、市民自治の実践として、まちづくりセンターの地域による自主運営化や雪対策の推進など、市民の主体的な活力あふれる地域づくりを支援します。

### 重点課題 1

### 市民の主体的な地域づくりの支援

#### 施策 1 市民自治の実践による地域づくりの推進

#### 施策 2 地域の連携によるまちづくりの推進

#### 施策 3 市民の主体的な活動推進のための環境づくり

## 施策 1 市民自治の実践による地域づくりの推進

地域の主体的なまちづくり活動をさらに活発なものとしていくため、一部の地域におけるまちづくりセンターの地域自主運営化や、地域の自主的な判断で冬の暮らしを快適なものとするよう、地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いにより地域の実情に応じた除排雪を行うなど、市民自治の実践による地域づくりを進めます。

事業名・担当部 〔計画事業費〕	事業内容 達成目標
まちづくりセンター 地域自主運営化推進 市)地域振興部 〔 - 〕	地域の主体的なまちづくり活動のさらなる推進を図るため地域課題の解決方法などをまとめた「地域活動ビジョン」の策定などを支援するとともに、まちづくりセンターの運営について、10カ所を地域に委託します。 ○地域自主運営化したまちづくりセンター数 H18： - ⇒ H22：10カ所
地域特性に応じた土地利用の再構築事業〔再掲〕 市)都市計画部 〔50百万円〕	建替更新時期を迎える高度利用住宅地*や開発時期の古い郊外住宅地などについて、土地利用ルールのあり方や土地の利用転換などを検討し、時代の変化に対応した再構築を図ります。また、地域が自主的に定める「地域のまちなみルール」への配慮を求める制度を創設します。 ○地区計画*の決定、変更数 H18： - ⇒ H22：3地区 ○地域まちなみづくり推進制度の策定 H18：検討 ⇒ H21：策定
地域と創る冬みち事業 建)管理部 〔453百万円〕	地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いによって、地域の実情に応じた除排雪を行い、市民の理解や満足度を高めます。また、この事業の成果は、次期札幌市雪対策基本計画に反映させます。 ○参加町内会数 H18：186町内会 ⇒ H22：560町内会
協働による冬期歩行環境の改善 建)管理部 〔 - 〕	冬期歩行環境の向上を図るために、企業から寄付を受けた歩行者用砂箱（企業名入り）の設置、砂まきキャンペーンの実施や市民、コンビニなどにおける自発的な砂まき活動の拡充に積極的に取り組みます。 ○市民による砂まきの割合の増加 H18：57% ⇒ H22：70% ○企業名入り砂箱の設置数 H18：79基 ⇒ H22：160基

\*高度利用住宅地 札幌市長期総合計画、札幌市都市計画マスタープランなどにおける住宅市街地の基本的な区分のひとつ。大量公共交通機関の沿線、都心周辺部、広域交流拠点・地域中心核とその周辺の区域。

\*地区計画 地区の特性に合わせた良好な都市環境の維持・形成を図るため、区画道路、小公園などの配置や建築物の用途、高さ、壁面の位置、敷地の規模など、きめ細かな地区のルールを定める都市計画。

## 施策2 地域の連携によるまちづくりの推進

まちづくり活動を行う団体間の連携を促進するため、町内会などの地域活動団体からなるまちづくり協議会\*を基礎に、市民の意見を市政に反映させるしくみとしての「区民協議会」の設置を進めます。また、学生や大学をまちづくりのパートナーとして位置づけ、その持つ機能や活力をまちづくりに活かす取り組みを積極的に進めるなど、地域を超えた連携や情報共有により、まちづくり活動をさらに活発化していきます。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>区民協議会設置・運営事業</b> 市)地域振興部 [32百万円]	市民の意見を市政に反映するため、区民意見の調整や合意形成の場である「区民協議会」を、地域の代表・有識者・公募市民からなる「アドバイザー会議」や市民などからの意見を踏まえて、全区に設置します。 ○区民協議会の設置区数 H18：3区 ⇒ H22：10区
<b>大学と地域の連携による都市再生の推進</b> 市)企画部 [23百万円]	大学の持つ知識や学生の力を活かしたまちづくりの課題解決のしくみづくりとして、市と大学の意見交換の場を設けたり、大学と地域の連携を進めるためのワークショップ*などを実施します。 ○大学連携ネットワーク会議の設置 H18：－ ⇒ H20：設置
<b>大学や学生との連携による地域づくりの促進</b> 市)地域振興部 他 [42百万円]	大学や短大の学生が地域の課題を解決するための取り組みを提案する場や、学生間でまちづくり情報を共有する機会を設定するとともに、各区において、大学や学生などの力を活かした多様なまちづくり活動を進めます。 ○学生プレゼンテーション*大会開催数(累計) H18：1回 ⇒ H22：5回

## 施策3 市民の主体的な活動推進のための環境づくり

市民の主体的なまちづくり活動を推進するため、まちづくりを担う人材の育成や情報の支援、活動の場の支援、資金面での支援などを盛り込んだ市民まちづくり活動促進条例を早期に制定します。また、まちづくり活動に関する講義・研修や、子どもたちのまちづくり活動参加を促進する取り組み、担い手と活動団体を結びつけるための総合的な情報発信など、多くの市民がまちづくり活動に参加できる環境づくりを行います。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>市民まちづくり活動促進総合事業</b> 市)地域振興部 [40百万円]	市民まちづくり活動促進条例を制定し、条例に基づいて市民まちづくり活動促進基本計画の策定などを行うとともに、寄付を募り、市民まちづくり活動への支援を行うための基金の設置や、活動内容を発表する場を設けるなど、市民まちづくり活動を活性化するための支援を行います。 ○市民まちづくり活動促進条例制定 H18：検討 ⇒ H19：制定 ○市民まちづくり活動促進基金設置 H18：検討 ⇒ H20：設置
<b>都心再生協働事業【再掲】</b> 市)企画部 [74百万円]	中心市街地活性化法*の改正に伴い、新たな中心市街地活性化基本計画の策定を進めるとともに、都心各地の特性に合わせたエリアマネジメント*の促進を図るほか、まちづくり会社*の設立など、民間主体のまちづくりを支援します。 ○新中心市街地活性化基本計画の策定 H18：検討 ⇒ H20：策定 ○大通・駅前通地区まちづくり計画の策定 H18：－ ⇒ H22：検討

- \***まちづくり協議会** 地域でさまざまな活動を行っている個人や団体が連携して、地域課題の解決や目標の実現に向けて行動する組織。概ねまちづくりセンター単位で設置されている。
- \***プレゼンテーション** 情報、企画、提案を提示して説明すること。
- \***中心市街地活性化法** 様々な都市機能が集積する街の顔であり、地域の経済社会の発展に重要な役割を果たしている中心市街地における空洞化の進行を防ぎ、その活性化を図るための法律。商業の活性化に偏った取り組みなどの背景を踏まえ、平成18(2006)年に改正された。
- \***エリアマネジメント** 一定の地域(エリア)における、安全・安心・美しさ・豊かさなど、環境の維持・向上・管理を実現していくための地域住民・事業者・事業者などによるさまざまな自主的取り組み。
- \***まちづくり会社** 必要な収益事業を実施しながら、自ら活動資金を生み出し、具体的かつ確実にまちづくりに取り組む組織。行政には無い経営感覚や民間の視点・発想と、地域が共有したビジョンに基づき、地域の活用と管理を展開することで、まちの資産価値や魅力を高め、持続的で多様な都市活動を創出するほか、さらなる民間投資の誘発を目指す。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>市民との協働による都市計画制度の普及【再掲】</b> 市)都市計画部 [12百万円]	都市計画の制度やしきみをわかりやすく説明した「まち本」や子ども向けの「ミニまち」を活用した出前講座などを実施し、都市計画制度の普及・啓発、まちなみづくりへの市民参加のきっかけづくりを進めます。 ○「まち本」等活用講座受講者数 H18：127人 ⇒ H22：500人
<b>区民とつくる地区センターモデル事業 (里塚・美しが丘地区センター建設)</b> 市)地域振興部 [505百万円]	区民センターを補完し、地域住民のコミュニティ*活動の拠点となる里塚・美しが丘地区センターを、清田区里塚・美しが丘地区に建設します。 ○里塚・美しが丘地区センター開設 H18：－ ⇒ H20：開設
<b>地域の縁結び事業</b> 市)地域振興部 [43百万円]	まちづくりに参加したい市民と、担い手を求めている活動団体を結びつけるため、日ごろ参加機会の少ない市民を対象としたまちづくりに関する講義・研修を実施するとともに、ホームページなどでまちづくりに関する情報の発信を行います。 ○まちづくり参加入門教室の開催数 H18：－ ⇒ H21：20回(1区2回)
<b>子どものまちづくりへの参加促進事業</b> 市)地域振興部 [40百万円]	将来の地域活動の担い手を育成するため、子どもの意見を反映させた子ども向けのまちづくり手引書を作成するとともに、地域の活動団体から企画提案を募集するなど、子どもがまちづくりについて体験する機会を充実させます。 ○子どものまちづくり体験事業の実施回数 H18：－ ⇒ H20：10回(1区1回)
<b>さっぽろ元気NPO*サポートローン</b> 市)地域振興部 [35百万円]	市民活動団体(NPO)が安定した事業運営を行うため、必要な融資を円滑に受けることができるように、金融機関に対し利子補給や損失補償を行います。 ○融資件数(累計) H18：29件 ⇒ H22：70件
<b>札幌市アイヌ施策推進計画策定【再掲】</b> 市)市民生活部 [10百万円]	アイヌ民族の伝統文化の保存・継承・振興などを図るとともに、アイヌ民族の歴史・文化・自然観などへの市民理解を推進し、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちづくりの実現を目指したアイヌ施策推進計画を策定します。 ○札幌市アイヌ施策推進計画の策定 H18：－ ⇒ H21：策定
<b>福祉のまち推進事業【再掲】</b> 保)総務部 [－]	福祉のまち推進センターによる地域住民の日常的な福祉の支えあい活動を推進するため、活動費や拠点施設確保の支援を行うとともに、課題解決の取り組みや担い手確保の支援、一層の情報提供など、さらなる活動の展開を支援します。 ○地区福祉のまち推進センター拠点設置数 H18：58地区 ⇒ H22：74地区 ○福祉推進員*数 H18：6,170人 ⇒ H22：6,600人
<b>わたしたちの児童会館づくり事業【再掲】</b> 子)子ども育成部 [4百万円]	児童会館やミニ児童会館に子ども運営委員会を設置し、児童会館利用のルールづくりや愛称をつけるなど、子どもたちが意見を発表できる機会を増やし、地域への愛着や市民自治に対する関心をはぐくみます。 ○子ども運営委員会設置数 H18：12館 ⇒ H22：児童会館、ミニ児童会館全館
<b>さっぽろ市民カレッジ*による人材育成の推進</b> 教)生涯学習部 [－]	さっぽろ市民カレッジにおける地域活動のリーダー育成や、学んだ成果を地域での活動などに活かすしくみづくりを進めるほか、まちづくり活動を実践している市民の知識や技術を認証する手法などについて検討します。 ○講座受講者数 H18：3,520人 ⇒ H22：4,200人

\*コミュニティ 地域課題に共同して取り組む個人や団体の集合体。

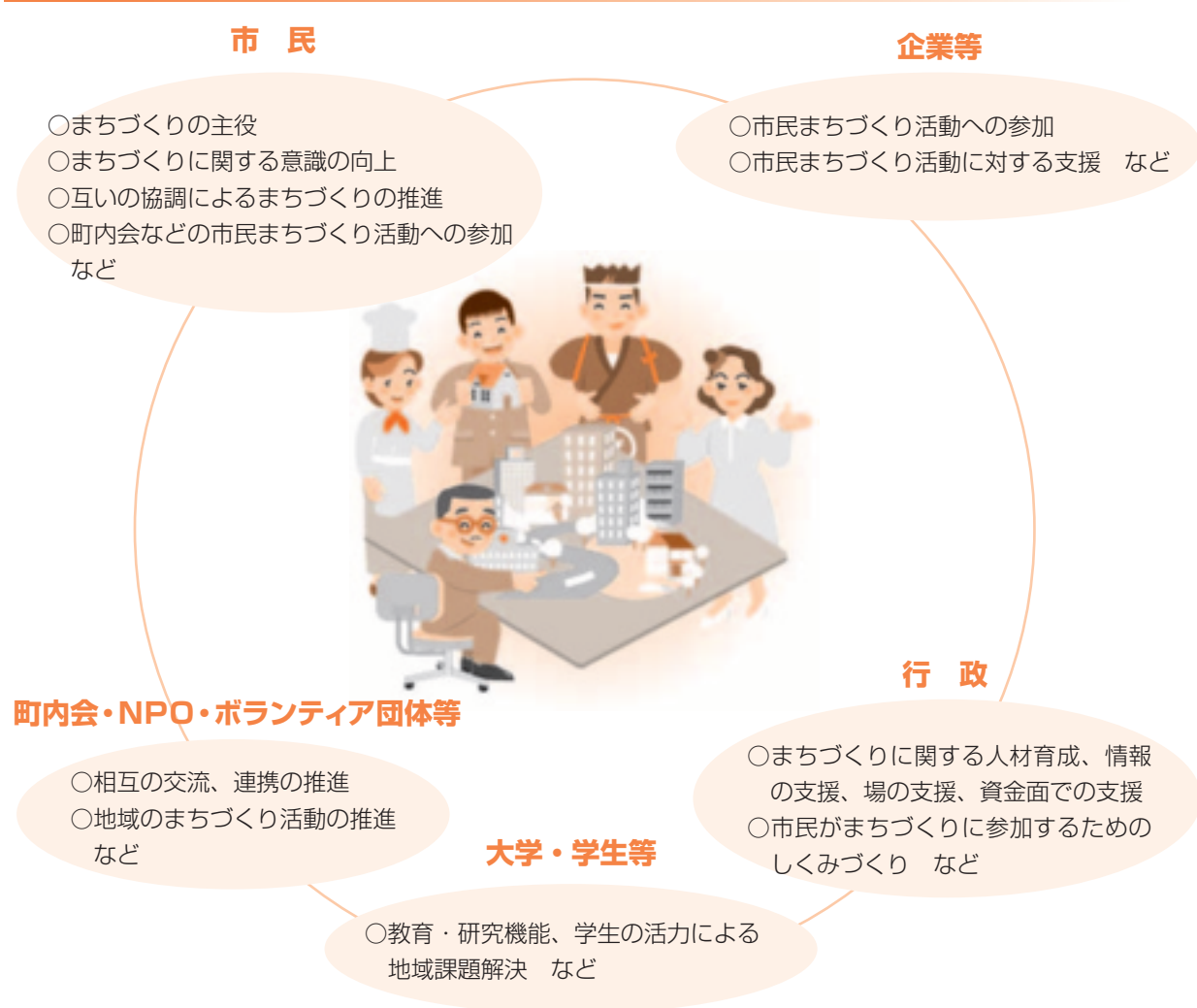
\*福祉推進員 福祉のまち推進センターにおいて地域の福祉課題の把握、支援内容の検討、日常生活の支援などを行う地域福祉のボランティア。

\*さっぽろ市民カレッジ 高度で継続的かつ体系的な学習機会を提供することを目的として、札幌市生涯学習センター(ちえりあ)を拠点に実施している市民向け講座。

## 成果指標

	現状値	目標値
<b>【市民意識・行動指標】</b>		
・町内会、NPO*、ボランティアなど市民まちづくり活動に参加経験のある人の割合	41.1% (H18)	60% (H22)
・コミュニティ*組織（町内会など）の活動が盛んに行われていると思う市民の割合	57.8% (H18)	70% (H22)
<b>【社会成果指標】</b>		
・NPO認証法人数（札幌市に主たる事務所を置くもの）	569団体 (H18)	900団体 (H22)
・地域と創る冬みち事業に参画した町内会数	186町内会 (H18)	560町内会 (H22)

## 各主体の主な役割





## 重点課題 2 札幌の経済を支える企業・人の支援

### 施策と事業

#### 施策の基本方針

足腰の強い経済の活力みなぎる都市を目指し、地域の事業者を支援する「元気がんばれ資金」の創設や経営相談の実施、地元企業に対する国内外への販路拡大の支援や製造業の高付加価値化の促進など、札幌を支える産業を支援します。また、起業を目指す市民を対象としたさまざまな支援、若者、女性、中高年などに対する雇用機会の創出や就労支援に取り組むとともに、労働に関する問題解決の支援を行い、安心して働ける環境づくりを推進します。

#### 重点課題 2

#### 札幌の経済を支える 企業・人の支援

施策1 資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実

施策2 安心して働ける環境づくりの推進

施策3 創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援

### 施策1 資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実

中小企業を資金面から支援するため、既存の融資制度を継続するとともに、小口資金への需要に対応し、地域に根ざした企業活動を振興するため、融資制度の拡充を図ります。

併せて、中小企業のニーズを把握し、より実効性のある支援施策を立案・推進するためのしくみづくりを進めます。

中国や韓国などのアジア圏諸国・地域との経済交流、首都圏など国内での展示会や商談会出展への支援など、市内中小企業の販路拡大を進めます。

事業名・担当部 〔計画事業費〕	事業内容 達成目標
<b>元気がんばれ資金</b>  経)産業振興部 〔5,579百万円〕	市内で長年にわたり事業を行い、地域の発展と雇用の維持・確保に大きく寄与しているが、厳しい経営環境に置かれている小規模事業者などに対し、必要な小口資金を融資することにより、企業経営を安定させ地域に根ざした企業活動を振興します。  ○新規融資額 H18：－⇒H22：9億円/年 ○新規融資件数 H18：－⇒H22：300件/年
<b>中小企業金融対策資金</b>  経)産業振興部 〔326,420百万円〕	融資に必要な原資の一部を金融機関へ預ける（預託）など、市内の中小企業が事業経営に必要な資金を円滑に調達することができるよう支援します。  ○新規融資額 H18：1,094.7億円/年⇒H22：1,100億円/年 ○新規融資件数 H18：8,579件/年⇒H22：8,600件/年
<b>中小企業ネットワーク 構築・推進事業</b>  経)産業振興部 〔81百万円〕	市内中小企業のニーズを把握し、より実効性のある企業支援施策を推進するため、業種別懇談会や業界団体トップ経営者による賢人会議などを開催するとともに、後継者の確保が困難な中小企業の円滑な事業承継を進めます。  ○賢人会議開催回数 H18：－⇒H22：3回/年
<b>アジア圏等経済交流 促進事業</b>  経)産業振興部 〔145百万円〕	情報関連産業や食品関連産業、ファッション関連産業などが、国際競争力を高めながらアジア圏諸国との産業ネットワークの構築を促進するため、相互交流や高度技術を有する人材の活用を通して販路拡大や調達コスト削減の支援を進めます。  ○商談会への延べ参加企業数 H18：156社⇒H22：230社
<b>国内販路拡大支援事業</b>  経)産業振興部 〔28百万円〕	魅力ある商品や独自の商品企画力を持つ市内の中小卸売業者の活性化を図るため、首都圏で開催される見本市出展など道外への販路拡大と、市内及び周辺市町村の商店街との取引促進のための商談会など連携強化を支援します。  ○展示会出展企業数 H18：10社⇒H22：20社

## 施策2 安心して働ける環境づくりの推進

就業サポートセンターなどの利用時間を延長し、職業相談・職業紹介機能を充実するとともに、若者や再就職を目指す女性、中高年齢者など幅広い年齢層を対象とした就業への支援機能の強化を行います。また、仕事の悩み相談窓口の開設や中小企業へのメンタルヘルス（心の健康）専門スタッフの派遣など、安心して働ける環境づくりを支援します。

若者の職業意識を高めるため、就業体験を中心とした総合的な就業支援を行うとともに、本市が重点的に振興を図っているIT\*、デジタルコンテンツ\*、コールセンター\*、観光産業などで必要とされる人材を育成し、新規の雇用創出につなげます。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>就業者総合サポート事業</b>  経)雇用推進部 [90百万円]	安心して働ける環境をつくるため、就業サポートセンター（北区札幌サンプラザ内）及びジョブガイド西（西区琴似）の利用時間の延長やさまざまな世代の再就職支援の強化、仕事の悩み相談窓口の開設やメンタルヘルス（心の健康）専門スタッフの派遣などを行います。  ○就業サポートセンター等の利用者数 H18：91,657人 ⇒ H22：100,000人 ○再就職支援セミナーの受講者数 H18：867人 ⇒ H22：1,300人
<b>若年層に対する 就業支援事業</b>  経)雇用推進部 [145百万円]	若年求職者を対象とした就業体験やセミナー、カウンセリング（面接相談）など総合的な就業支援事業や、若手社員の職場定着を促進する企業向けの人材育成事業を実施します。  ○受講者数 H18：596人 ⇒ H22：1,000人 ○就業率 H18：－ ⇒ H22：30%
<b>産業人材の育成事業</b>  経)雇用推進部 [－]	IT、デジタルコンテンツ、コールセンターなどの企業誘致や、関連する技術水準の高い人材の育成と集積を図ることで、本市の特性や資源を生かした産業の活性化と雇用機会の創出を進めます。  ○就職者数（累計） H18：944人 ⇒ H22：3,000人

\***デジタルコンテンツ** デジタルデータで表現された文章、音楽、画像、映像、またはそれらを組み合わせた情報の集合のこと。それらを再生するためのソフトウェアを含むこともある。

\***コールセンター** 電話やインターネットを通じて、問い合わせの対応や商品の受注などの顧客対応業務を専門的・集約的に行う組織・施設。

### 施策3 創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援

団塊の世代や女性の起業を積極的に促進し、創業を目指す市民を支援するため、事業計画の立案や資金計画などでのきめ細やかなアドバイス、起業セミナーの充実などを行います。

また、市内製造業者が行う新製品の開発や既製品の改良、企業間ネットワークの構築、人材の育成、地域に密着したコミュニティビジネス\*への展開など、新たな事業にチャレンジする企業への支援を行います。

事業名・担当部 〔計画事業費〕	事業内容 達成目標
<b>団塊の世代及び女性の 起業支援事業</b>  経)産業振興部 〔15百万円〕	起業を目指す団塊の世代や女性を対象に、起業セミナーの充実や、起業希望者に対する個別アドバイスを行う起業塾の実施など、団塊の世代及び女性の起業を支援します。  ○団塊の世代、女性に特化した起業セミナーの開催回数（累計） H18：2回 ⇒ H22：26回
<b>ベンチャー支援事業</b>  経)産業振興部 〔194百万円〕	優れたビジネスモデル*や大学・研究機関などの成果を事業化につなげるため、創業を目指す起業家や設立後間もないベンチャー企業*に対し、経営面での人的支援を充実させるなど、さまざまな支援を行います。  ○支援対象件数（累計） H18：12社 ⇒ H22：26社
<b>ものづくり産業活性化 支援事業</b>  経)産業振興部 〔43百万円〕	市内製造業の競争力を高め、本市経済の活性化を図るため、市内の中小製造業者又は企業グループなどに対し、新製品の開発や既製品の改良に対する支援、企業間ネットワークの構築支援、人材育成に関する事業へ支援します。  ○「新製品開発・既製品改良」補助件数（累計） H18：－ ⇒ H22：16件
<b>コミュニティ*型建設業 創出事業</b>  経)産業振興部 〔47百万円〕	地域や個人のさまざまな課題の解決を図るとともに、建設業が持つ人材・技術・機械などを活用し地域に根ざした新たな事業の展開を進めるため、市民が安心して仕事を頼めるしくみをつくるほか、両者を仲介する事務局の運営を支援します。  ○業務受注金額 H18：33,546千円 ⇒ H22：70,000千円

\* **コミュニティビジネス** 地域の住民が主体となって、地域内の資源を活かしながらその地域の課題について「ビジネス」の手法で取り組むもの。

\* **ビジネスモデル** ビジネスのしくみ。事業として何を行い、どこで収益を上げるのかという利益を生み出す具体的なしくみ。

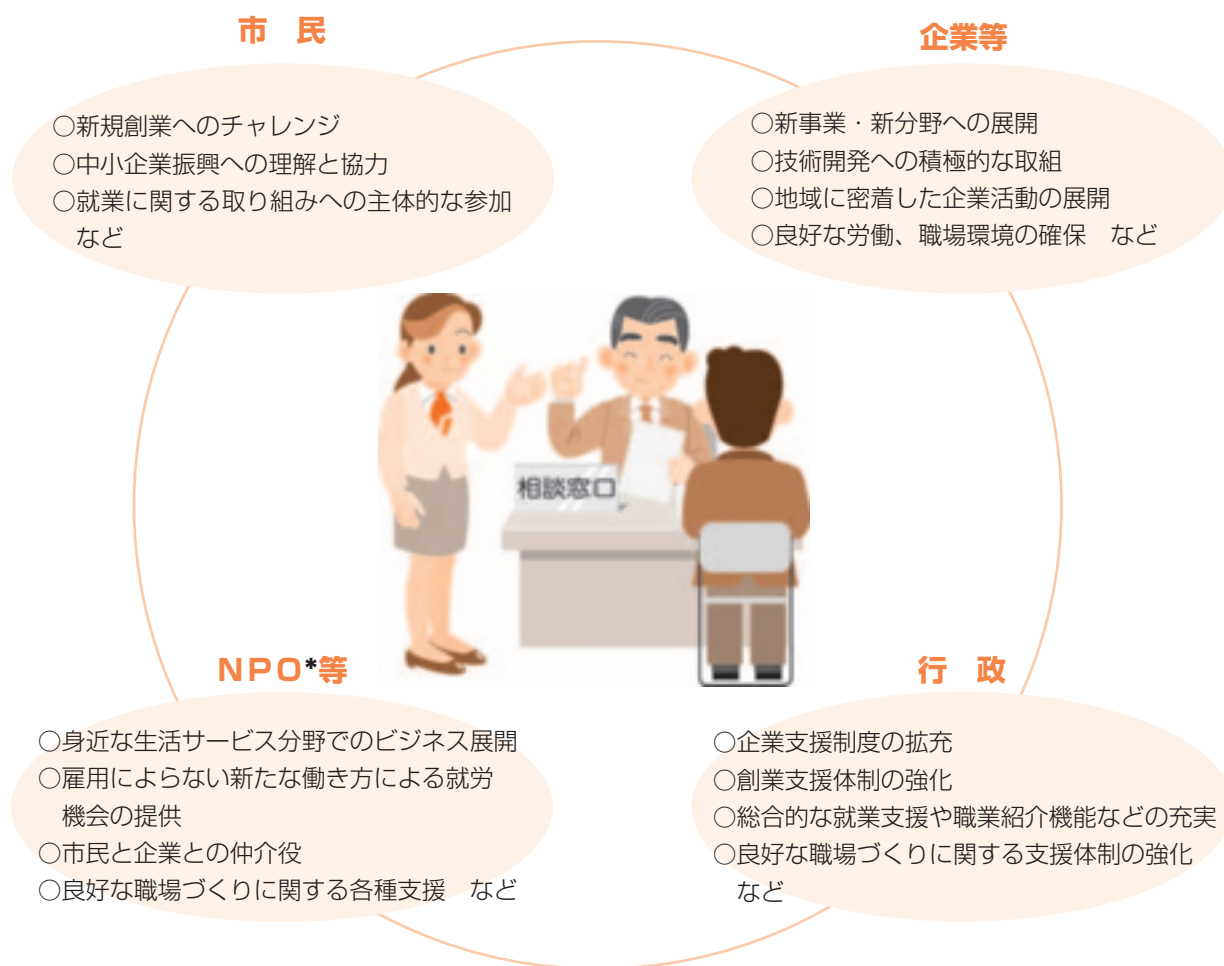
\* **ベンチャー企業** 起業家精神に富み、新たな商品やサービスの開発といった創造的な事業活動に取り組む企業。



## 成果指標

	現 状 値	目 標 値
<b>【社会成果指標】</b>		
・ 中小企業向け融資制度の新規融資件数 及び融資額	8,579件 (H18) 1,095億円	8,900件 (H22) 1,109億円
・ 経営や起業に関する相談・アドバイス件数	4,034件 (H18)	8,000件 (H22)
・ 展示会・商談会への参加企業数	166企業 (H18)	300企業 (H22)
・ 雇用創出事業及びマッチング*による 就職者数	4,441人 (H18)	6,000人 (H22)

## 各主体の主な役割



\* マッチング 合うものを見つけること、合うものを組み合わせること。



# 重点課題 3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致

## 施策と事業

### 施策の基本方針

さっぽろのブランド力をさらに向上させるため、札幌市立大学をはじめとした研究機関が持つ知の資産と産業を結び、デザインやバイオ\*の分野などで札幌らしい特色ある新産業を育成し、スイーツ\*などの食品関連産業とともに国内外に発信します。また、平成27年までにIT\*・コンテンツ\*産業売上高1兆円を目指し、人材・企業を育成し、映像を中心としたコンテンツ分野の取引の拡大を図るとともに、IT関連企業などを積極的に誘致します。

### 重点課題 3

### 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致

施策1 札幌の都市イメージを活用した産業の振興

施策2 IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大

施策3 札幌の優位性を活かした企業の誘致

## 施策1 札幌の都市イメージを活用した産業の振興

道都としての札幌の集客・発信能力を最大限に活かし、北海道全体の魅力を向上させる拠点の整備を進め、スイーツに代表される「札幌の食」を新たな都市ブランドとして確立させるため、食品産業や農業などで各種施策を戦略的に展開し「札幌の食」を国内外に発信していきます。

また、デザインを活用したものづくりを進め、商品開発力や販売戦略を向上させ、付加価値の高い商品やサービスの提供を図ります。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
都心部における北海道の 魅力発信事業  市)企画部 [65百万円]	北海道全体の魅力向上や活性化を図るため、道内各市町村と連携し、国内外へ向けた食や観光資源などの情報発信や特産品の販売を行うための拠点を都心部に整備します。 ○来場者数 H18：－⇒H22：10万人 ○道内各地域からの出展者数 H18：－⇒H22：50件
「食のまち」札幌の推進  経)産業振興部 [96百万円]	さっぽろスイーツを始めとする「札幌の食」のブランド化を図るため、スイーツを切り口としたイベントの開催や食品見本市への出展、食に関する情報発信拠点の整備など、重点的、複合的に食産業の振興を支援し「札幌の食」を国内外に発信します。 ○スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数 H18：85社⇒H22：170社 ○「食のまち」札幌発信拠点の整備 H18：－⇒H22：整備
魅力ある食づくり推進事業  経)農務部 [12百万円]	果実などを主体とした地元食材の見本市（スイーツマルシェ）の開催や、魅力ある農産加工品の開発、ブルーベリーなどの小果樹の試験栽培を行うなど、地元農産物の需要喚起と販路拡大を図ります。 ○スイーツマルシェ出展数 H18：20店⇒H22：25店 ○スイーツマルシェ集客数 H18：350人⇒H22：500人
札幌スタイル*推進事業  経)産業振興部 [93百万円]	デザインを活用し産学官の連携による「札幌スタイル」という新しい価値の創造を目指し、デザインコンペ（競技会）や認証事業、デザインセミナーなどを行い、商品開発力の向上と販売力の強化を図ります。 ○認証製品数（累計） H18：56件⇒H22：100件

\*札幌スタイル 次の時代の生活像を追求し、デザイン性と品質、札幌らしさを兼ね備えているものを、開発から生産、流通、そして生活形成へとつなげる活動。

## 施策2 IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大

IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大を目指し、首都圏や関西などで企業間マッチング\*や商談を進め共同研究や販路拡大などを促すとともに、映像資源（コンテンツ）の活用や、映画などのロケーション\*撮影の積極的な誘致、高度な業務を担える人材の育成など、IT・コンテンツ産業の振興を図ります。

また、大学構内に設置される起業家育成施設などを有効に活用し、大学の優れた研究成果と企業の技術力の融合を図り、研究開発を促進することで、バイオ産業の育成、拡大を図ります。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>首都圏ビジネスチャンス 拡大支援事業</b>  (総)東京事務所 [43百万円]	首都圏での販路拡大を目指す地元企業の支援のため、首都圏企業とのネットワークの構築を進めながら、マッチング、コーディネートやプレゼンテーション*の場の提供をしたり、東京事務所をビジネス拠点として開放します。  ○販路拡大支援事業への首都圏参加企業数 H18：94社 ⇒ H22：200社 ○ビジネスラウンジ*利用者数 H18：323人 ⇒ H22：500人
<b>企業連携構築事業</b>  (経)産業振興部 [30百万円]	IT・バイオ分野で企業集積が進んでいる関東や関西地域と札幌のベンチャー企業*・研究者との事業連携、技術提携及び共同研究を促進させるため、情報交換や商談などのマッチングを行うイベントを開催します。  ○ビジネスマッチングの来場者数 H18：427人 ⇒ H22：800人
<b>「創造都市さっぽろ* (sapporo ideas city)」の 活用と推進</b>  (市)企画部 (経)産業振興部 [80百万円]	市民や企業の創造性を引き出し、まちづくりに活かす「創造都市さっぽろ (sapporo ideas city)」という都市ブランドを、経済価値創出につなげるため、コンセプトを視覚的に表現する基本デザインを策定し展開します。 また、創造都市の推進の起爆剤として、アイコモンズ・サミット2008*の開催をはじめ、芸術の森地区を創造都市の推進拠点とするための事業を行います。  ○民間創造都市推進組織の設置 H18：－ ⇒ H22：設置 ○IP*ビジネス研究会への参加企業数 H18：－ ⇒ H22：50社
<b>さっぽろコンテンツ マーケット創出事業</b>  (経)産業振興部 [－]	札幌国際短編映画祭に応募されたショートフィルム（短編映画）などの資源（コンテンツ）を産業につなげるために、年間を通じて取引が行える「さっぽろコンテンツマーケット」システムを構築します。  ○取引可能な映像作品等の集積本数（累計） H18：1,500本 ⇒ H22：10,000本
<b>さっぽろフィルム コミッション*強化事業</b>  (経)産業振興部 [124百万円]	市内映像産業の振興を目指し、さっぽろフィルムコミッションが行っているロケーションサービスを充実させ、ロケへのニーズに対応するとともに、ロケーション誘致の拡大や地場映像事業者の人材育成を支援します。  ○ロケーション（延べ）撮影日数 H18：236日 ⇒ H22：500日

\*ロケーション ロケ。屋外での撮影。

\*ビジネスラウンジ 札幌市東京事務所内に設置されている、札幌企業のための会議・打合せ空間。インターネットやコピーなどの機器が利用でき、販路拡大に関する相談も受け付けている。

\*創造都市さっぽろ 市民や企業などの創造性を引き出すことで都市の活性化を図るとともに、創造性あふれる環境や人材について積極的に情報発信することで都市のイメージを高め、外部からの注目や投資を獲得していこうとする札幌市の政策。

\*アイコモンズ・サミット2008 インターネットの登場で急速に拡大する著作物の利活用や著作権のあり方などを考える国際会議。

\*IP インテレクチュアル・プロパティ (Intellectual Property) の略。知的財産。「IPビジネス」とは、創作物などの経済的な価値を有したものの(知的財産)を保護・活用することで、経済活動につなげようとするもの。

\*フィルムコミッション 映画、テレビドラマ、CMなどの撮影の誘致や、撮影をスムーズに進めるための情報提供などの支援を行う組織。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>高度情報通信人材育成・活用事業</b> 経)産業振興部 [188百万円]	札幌市のIT*関連産業の売上げ拡大を図るため、より高度で付加価値の高い業務を受注できるような人材を育成し、企業へ積極的に情報提供することにより、IT産業の活性化を図ります。 ○この事業による市内IT企業への就業者数 H18：72人 ⇒ H22：100人
<b>新産業育成推進事業</b> 経)産業振興部 [48百万円]	市内の中小企業と大学や異業種などとの連携を促進し、新産業の事業化を期待できる①環境・エネルギー②福祉・医療③情報・通信④バイオ*テクノロジー（ライフサイエンス*）関連分野の取り組みを支援します。 ○補助金交付件数（累計） H18：2件 ⇒ H22：10件
<b>北海道大学連携型起業家施設運営事業</b> 経)産業振興部 [66百万円]	大学の研究成果をベンチャーの創業につなげるため、北海道大学北キャンパスに開設される「北海道大学連携型起業家育成施設」の入居者に対し、賃料の補助など研究開発から事業化まで一貫した支援を行います。 ○北海道大学特許出願数 H18：271件 ⇒ H22：400件
<b>さっぽろバイオクラスター構想“Bio-S”*推進事業</b> 経)産業振興部 [29百万円]	バイオ産業の育成・振興を目指し、北海道の食材や化粧品などを科学的に評価し、高品質化を図る研究開発を、札幌を中心に道内の大学と連携して行います。 ○この事業によるクラスター*形成数 H18：－ ⇒ H22：50社

### 施策3 札幌の優位性を活かした企業の誘致

地域経済の活性化や新規雇用の創出が期待できるIT・コンテンツ・バイオ企業を積極的に誘致するとともに、引き続きコールセンター\*などの立地促進を進めます。また、既就職者の能力向上を目指し、研修や資格取得などの人材育成を支援し、多様な雇用機会を創出します。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>企業誘致促進事業</b> 経)産業振興部 [304百万円]	地域経済の活性化や新規雇用の創出が期待できるIT・デジタルコンテンツ*・バイオ企業を誘致するため、積極的な企業訪問、ダイレクトメールの送付、展示会出展などのほか、新規立地企業に対する補助を行います。 ○この事業による誘致企業数（累計） H18：－ ⇒ H22：15社
<b>雇用創出型ニュービジネス*立地促進事業</b> 経)産業振興部 [870百万円]	雇用創出が期待でき、今後も成長が見込まれるビジネス分野であるコールセンターなどの立地促進を図るため、引き続き積極的な誘致活動、新規立地企業への補助を行うほか、既就職者への研修など人材育成に取り組みます。 ○この事業による事業所開設数（累計） H18：39社 ⇒ H22：60社

\***ライフサイエンス** 生命化学。生命現象について、生物学を中心に化学・物理学などの基礎的な面と、医学・心理学・人文社会科学・農学・工学などの応用面とから総合的に研究しようとする学問。

\***さっぽろバイオクラスター構想“Bio-S”** 札幌市と北海道が共同で提案し、文部科学省から採択を受けた知的クラスター創成事業の事業名称。Bio-Sは、The Biocluster for Success from Science at Sapporoの略。

\***クラスター** 房のこと。そこから転じて多数の集まりのことを呼ぶ。

\***ニュービジネス** ここでは、主に企業の人事、総務、経理などの事務処理及びデータ入力などの情報処理を行う事業を指す。

## 成果指標

	現 状 値	目 標 値
<b>【社会成果指標】</b>		
・スイーツ*王国さっぽろ推進協議会への 参画会員数	85件 (H18)	170件 (H22)
・札幌スタイル*認証製品数	56件 (H18)	100件 (H22)
・取引可能な映像作品等の集積本数 (累計)	1,500本 (H18)	10,000本 (H22)
・大学の共同研究・受託研究実績	821件 (H18)	1,000件 (H22)
・IT*・コンテンツ*・バイオ*企業及び コールセンター*・ニュービジネス*の誘致数	39件 (H18)	75件 (H22)

## 各主体の主な役割

